

全国数学教育学会 Japan Academic Society of Mathematics Education
第27回研究発表会 プログラム

日 時：平成20年1月26日(土)～27日(日)

場 所：鳥取県立生涯学習センター（県民ふれあい会館）【鳥取大学】

※ 1件の研究発表の時間は、30分（発表20分、質疑応答10分）です。

26日	A会場 (5F)	B会場 (4F)	C会場 (4F)	D会場 (4F)
13:30 14:00	A-1 渡辺 信 (東海大学) 「普遍的な数学」対「地域重視の数学教育」	B-1 片岡 啓 (府立吹田高) 中学校の数学における空間図形と「用器画」の融合と離反～終戦前後の中学校における投影図の扱いを通して～	C-1 橋本三嗣 (広島県立大和高) 教材の発展的な扱いと生徒の数学観の関わりについての考察-高等学校『数学B』の授業実践に焦点を当てて-	D-1 秋田美代 (鳴門教育大) 数学活用力向上のための幾何学的イメージを中心に据えた教授方法モデルの構築
14:05 14:35	A-2 風間 喜美江 (江東区立深川第四中) 情報をよみ、判断し、それらを利用する生徒の実態調査からわかること-コミュニケーション力を育む指導に向けて-	B-2 隅谷将光 (広島大院) 高等学校数学におけるオープンアプローチに関する研究 (I) -オープンアプローチによる指導を導入するための課題-	C-2 吉元宣博 (鹿児島大院) 数学的問題解決に対するメタ認知指導の有効性についての一考察-単式学級及び複式学級での調査結果の比較・分析より～	D-2 村上眞治 (広島大院) 数学教育における意味と形式に関する研究-三角比の拡張の指導を通して-
14:40 15:10	A-3 真野祐輔 (広島大院) 数学学習における概念変容の基礎的考察(IV): 問題状況における学習者の認識状態を捉えるアプリオリな観点の設定	B-3 岡田 泰 (広島大附属東雲小) 算数科における観察・洞察力の育成を意図した学習指導と評価に関する実証的研究	C-3 高本誠二郎 (上越教育大院) 移動と作図のプロセスの顕在化による論証への移行に関する研究-図形への論証への接続を目指した教授実験の報告(その3)-	D-3 河村泰之 (愛媛大) バラバラの概念に関する考察
15:20 15:50	A-4 二宮裕之 (埼玉大) 数学教育におけるメタ評価	B-4 垣水 修 (新潟大) 対角線から見た四角形	C-4 有馬祥英 (広島大院) ザンビア後期基礎教育における分数理解に向けた教授実験	D-4 塩見拓博 (鳥大院) Freudenthal数学教育論における数学観-Brouwerからの影響に焦点を当てて-
15:55 16:25	A-5 杉山佳彦 (北海道教育大釧路校) 数学教育における証明についての基礎的研究-具体に対する操作から一般的な対象・方法が生ずるメカニズムについて(2)-	B-5 向井慶子 (広島大院) 図形学習における数学的な理解過程に関する研究(II)-数学的『内容』と理解の関わりに着目して-	C-5 澁谷 渚 (広島大院) ザンビアにおける「本質的学習環境(SLE)」に基づく数学科教材開発研究	D-5 小出 実 (広島大院) 社会とのつながりを重視する数学科授業の開発研究(I)-高等学校における数学的モデル化過程を取り入れた授業の特徴と課題-
16:30 17:00	A-6 和田信哉 (新潟大) 小数の乗法の意味に関する記号論的考察	B-6 矢田敦之 (香南市立佐古小) 図形教材を用いた「複合型」授業に関する研究～「7ピース・モザイク・パズル」を中心に～	C-6 Purevdorj Oyunaa (広島大院) Primary School Teachers' Subject Matter Knowledge in Mongolia	D-6 高橋 靖 (上越教育大院) 生徒の主体的な数学的活動を促す授業改善に関する研究
17:05 17:45	開会行事, 学会賞・学会奨励賞授与式 (表彰式・記念講演) 会 場：A会場 (5F)			
18:00 20:00	懇親会 会 場：ウェルシティ鳥取 (県民ふれあい会館より徒歩3分)			

27日	A会場 (5F)	B会場 (4F)	C会場 (4F)	D会場 (4F)
09:15 09:45	A-7 中西 隆 (滋賀県立長浜高) 戦後の尺貫法とヤード・ポンド法について-戦前のメートル法導入からの経緯-	B-7 菅野栄光 (愛知県立半田高) , 下村 哲, 今岡光範 (広島大院) 高等学校における問題作りを取り入れた微分法の演算指導-機械的練習からの改善を目指して-	C-7 大西郁子 (兵庫教育大院) 算数・数学科と理科における「探究」活動	D-7 岡留優介 (静岡大院) 高等学校数学教育の改善に向けて-静岡県内高校数学教員へのアンケート調査を通して-
09:50 10:20	A-8 阿部好貴 (広島大院) 数学的リテラシーの育成のための教授・学習理論の構築に向けた基礎的研究(4):「構成」と「活用」の関係に焦点を当てて	B-8 田中由美恵 (新潟大院) 図的表現から記号的表現への変換に関する調査研究	C-8 川内充延 (兵庫教育大院) 数学学習における「例づくり」に関する考察	D-8 柏原正英 (兵庫教育大院) 比例的推論の文章題に使用されている問題状況
10:25 10:55	A-9 影山和也 (愛知教育大) 図形・空間学習における正当化について	B-9 稲田直人 (上越教育大院) 単度量あたりのおよびの概念形成における記号論的連鎖に関する研究	C-9 北村純一 (兵庫教育大院) 小学校算数における代数的推論の促進~関数的思考に焦点を当てて~	D-9 板垣元一 (上越教育大院) 中学校における空間図形指導の改善に関する研究-生徒の空間概念の変容の考察を通して-
11:05 11:35	A-10 馬場卓也 (広島大) 多様な価値観を有する社会・時代における数学教育の考察(1)-批判的数学教育の視座より-	B-10 尾崎さやか (鳥大院) 幼稚園教育における数・量・形感覚の指導	C-10 岩崎 聡 (上越教育大院) 学び合いと数学的な考え方の関係に関する研究-問題解決的な学習における教師の手立てに関する考察-	D-10 福島 剛 (上越教育大院) 自己評価を活用した数学学習の改善
11:40 12:10	A-11 宮内香織 (長崎大) 他 教員養成課程の学生の数学恐怖症・PCアレルギーに関する意識調査(2)	B-11 中平 晃 (須崎市立横浪小) 心的構造を基盤に置いた数学の授業	C-11 寺井昌人 (新潟大院) 単位の考えに基づき内容を関連づける教材の開発	D-11 榊原正憲 (兵庫教育大院) 小学校段階における数学的リテラシーの育成に関する研究(1)
13:10 13:40	A-12 吉村直道 (愛媛大) 算数・数学の授業における社会的相互作用に関する研究(1)-客観性の共有過程における社会的相互作用について-	B-12 川村晃英 (広島大院) 数学的な考え方の再考I~過去の研究を、現代・未来へ活かしてゆくために~	C-12 福本真也 (兵庫教育大院) 論証教材としての文字式に関する一考察	D-12 高井吾朗 (奈良教育大学附属中) 算数作文における様式の変化の効果について
13:45 14:15		B-13 福田幸一 (広島大院) 高等学校における数学的記号の理解に関する研究 (I) -教科書における新出記号の特徴-	C-13 網本久代 (広島大院) 中学校数学における文字式の指導に関する研究 (I) -生徒の文字や文字式の理解とその困難-	D-13 伊達文治 (広島県立海田高) 数学教育における文化的価値に関する研究-高校数学の基盤をなす代数表現とその文化性-
14:30 16:30	シンポジウム『算数・数学教育：日本と世界の多様性』 会場：1F ホール 閉会行事			
	オーガナイザー：飯田慎司 (福岡教育大学) シンポジスト：國本景亀 (高知大学) 小山正孝 (広島大学) 二宮裕之 (埼玉大学) 矢部敏昭 (鳥取大学)			